

2025年度 法学部 アセスメント・プラン

●アセスメントに用いるデータ・指標（法律学科・政治学科共通）

	AP(入学者選抜の内容・実施状況の検証)	CP (教育課程編成の検証) *	DP (DP で定めた能力に関する検証)
学部	<ul style="list-style-type: none"> ・各種入学選抜結果 ・調査書記載事項 ・アセスメントテスト (GPS-Academic) ・新入生アンケート ・入門講義の成績評価・GPA ・入学辞退率 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA ・教養教育・専門教育・キャリア教育・語学教育に関する講義およびプログラムの履修状況と実施状況 ・学生生活実態調査 ・授業改善アンケート ・卒業生アンケート ・退学率 ・アセスメントテスト (GPS-Academic) 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA ・各科目の履修状況、単位修得状況 ・授業改善アンケート ・卒業生アンケート ・アセスメントテスト (GPS-Academic) ・学生生活実態調査 ・退学率・卒業率・就職率 ・外部アンケート

* 単位認定状況や講義の実施状況等に関するアセスメントは、能力に関わるものであるため、CP ではなく DP との関連で検証をする。CPにおいては、主としてカリキュラム編成の妥当性に関するアセスメントを行う。

※アセスメントの実施に際しては、上記表に挙げたデータ・指標の全てを用いなければならないわけではない。アセスメントの際の重点の置き方等に応じて、必要なもののみ利用すれば良い。また、表に記載のない指標・データであっても、それがアセスメントの実施に際して適切と考えるものであるならば、それを利用することは妨げられない。

●アセスメントを実施する機関

	AP	CP	DP
法律学科	学部長 入試制度委員 入試制度検討委員会委員	学部長 カリキュラム戦略委員	学部長 アセスメント委員
政治学科	学部長 入試制度委員 入試制度検討委員会委員	学部長 カリキュラム戦略委員	学部長 アセスメント委員

※アセスメントの実施に際しては、上記表に掲載されていない委員会も協力するものとする。たとえば、CP に関しては、キャリア教育に関する言及があるが、それに関しては、キャリア支援委員がそのアセスメントを行うことが望ましい。

●その他特記事項

1. 2年次学科選択制に関するアセスメント

各学科への志望者数、学科選択後の単位修得状況・GPA、学生生活実態調査等を踏まえて、AP や CP の内容に照らし、その運用が適切なものになっているかを、学部長、カリキュラム戦略委員、アセスメント委員によって検証する。

2. 講義の実施状況等 (DP) に関する学部レベルでのアセスメントの内容

講義の実施状況等に関するアセスメントに際しては、学部レベルでのアセスメントは次のようなものとなる。

- ・科目担当者レベルでのアセスメントが実施されているかどうかについての検証
- ・科目担当者レベルでのアセスメントが適切になされていることを前提にした学部全体の教育内容についての点検および検証

※各科目の講義内容等についてのアセスメントは科目担当者が行うものであり、学部レベルのアセスメントはその内容を踏まえて実施することとする。

3. 教授会での報告

学部長は、両学科の 3 つのポリシー (AP・CP・DP) に関するアセスメント結果を、取りまとめて、教授会へ報告する。その報告に際して、FD 委員は、3 つのポリシーに関するアセスメントが適切になっていたかどうかについての意見を述べる。